



Pugsley Fork Instructions (パグスリーフォーク取り付け説明)

やあ、どうも。このサーリーフォークのために苦勞して稼いだお金を使っただけありがとうございます。サーリーの製品は有用で耐久性を持つよう設計されています。ですのでこの製品も長い間お客様に貢献すると確信しています。

△警告：サイクリングには危険が伴います。自転車部品はプロの整備士によって組み付け、お手入れを行って下りて下さい。自転車やアクセサリの改造は行わないで下さい。全ての製品の説明書、メーカーのウェブサイトに記載している警告を含む情報に目を通し、従って下さい。乗車の際は常にヘルメットをかぶりましょう。

追加製品や安全の情報に関してはウェブサイトのwww.surlybikes.com/safetyをご覧ください。

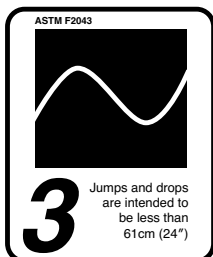
Compatibility (互換性)

| バージョン | オフセット (17.5mm) | オン-センター |
|-------------|-------------------------------|-----------|
| ステアラー： | スレッドレス | スレッドレス |
| ステアラー径： | 1-1/8" | 1-1/8" |
| ステアラー長： | 260mm | 260mm |
| アクスル〜クラウン長： | 447mm | 447mm |
| オフセット： | 43mm | 43mm |
| ハブ幅： | 135mm, リアディスク ローター用スペーシング* | 100mm |
| タイヤクリアランス： | 26 x 3.8" | 26 x 3.8" |
| ブレーキ： | ディスク | ディスク |

*例：ポストマウントのブレーキで180mmローターを取り付ける場合、フォークにはリア用の160mmポストマウントディスク台座アダプターが必要となります。

*注意：135mm幅のサーリーアイスクリームトラック、ムーンランダー、パグスリーフォークのディスク台座はリア用のローター規格を採用しており、全てのファットバイクハブと互換性はありません。お持ちのハブの互換性に関しては製造メーカーに確認を取って下さい。サーリーの135mm幅フロントハブもリアローター用の規格を採用しています。

Intended Use (用途)



コンディション 3

コンディション1、2に含まれる走行状況、もしくは起伏の多いトレイルと未舗装の荒れた路面、加えて技術的な手腕を必要とする前述の路面での自転車使用を想定。ジャンプとドロップオフは61cm未満を想定。ライディングコンディションの一覧に関しては、surlybikes.com/safety内のバイクオーナーズマニュアルもしくはride2rock/support内の多段ギア用自転車取り扱い説明書をご覧ください。

Tools Required (必要工具)

- クラウンレース圧入工具
- スターナット打ち込み用ガイド工具
- ハンマー/木槌
- ステアラーチューブ切断用ガイド (推奨)
- 金ノコと油性マジック、もしくはテープ
- 切削油 (推奨)
- アーレンキー 4, 5, 6mm
- トルクレンチ

フォーク、ヘッドセットそして適切な取り付けのために必要とされる全ての部品は内径の互換性がなければいけません。互換性のない部品の使用は故障を引き起こす恐れがあります。

ヘッドセットとステムパーツの、ステアラーチューブと当たる部分にバリや尖った破片がないことを確認して下さい。バリや破片は目が細かいサンドペーパーを使って取り除いて下さい。

Installation (取り付け説明)

1. ヘッドセット製造メーカーの取り付け説明に従ってフレームにヘッドセットカップを取り付けたら、クラウンレースを取り付けます。片方の手でフォークを持ち、クラウンレース圧入工具とハンマーを使ってフォークのステアラーチューブ根元部分に圧入*します。
△フォークのドロップアウトを床やその他の固い面に置いて作業を行わないで下さい。そのような行為はフォークに損傷を与え、走行中にフォークを安全でない、危険な、致命的な状態にします。
2. 製造メーカーの取り付け説明に従いヘッドセットの下受けパーツを取り付けたら、フォークをヘッドチューブに挿入して下さい。そしてトップ側のパーツも製造メーカーの取り付け説明書に従い取り付けして下さい。
3. ステムをステアラーチューブに挿入し、ヘッドセット上のスペーサー上面に対してしっかりと着座するまで入れて行きます。そしてステムのステアラークランプボルトを取り付けたパーツが十分保持される位置である程度締め込みます。
4. ステムの上端部分とステアラーチューブの境目に印をつけます。ステムとスペーサーを取り除き、フレームからフォームを抜きます。そして最初に印を付けたところより3mm下に再度印を付けます。これが切断ラインです。
5. 直角に切るために、ステアラーチューブ用のカッティングガイドを使うことをお勧めします。歯の傷んでない金属切断用のこぎりを使って切断ラインから切り始めますが、この際切削油を使うことをお勧めします。切り終わったらやすりを使ってステアラーチューブ切り口内側と外側のバリなどを取り除きます。
6. 製造メーカーの取り付け説明に従い、ヘッドセットに付いてくるスターナットの部品をステアラーチューブの中に取り付けます。
△警告：再度となりますが、フォークのドロップアウトを床や固い場所に置いて作業を行わないで下さい。そのような行為はフォークに損傷を与え、走行中にフォークを安全でない、危険な、致命的な状態にします。
7. フォーク、ヘッドセットのアッセンブリ、スペーサーそしてステムを入れ直し、ヘッドセット製造メーカーの説明に従いトップキャップに予圧を与えて適切なヘッドセットの調整を行って下さい。その後ステムのステアラーボルトを製造メーカーの説明に従い適度に締め込んで下さい。
8. ホイール製造メーカーの取り付け説明に従いクイックリリースを正しく固定しフロントホイールを取り付けます。
△警告：クイックリリースの調整とホイールの固定を誤ると重傷や死に至る恐れがあります。
9. フォークにフロントホイールを装着し、ステムとホイールの向きを揃え、製造メーカーの取り付け説明に従いステムのステアラークランプボルトをしっかりと締め込んで下さい。トップチューブにまたがり、前輪を両足で挟んでステアラーを軸にステムを回すよう強く力をかけてみてください。ステムが回るようであれば、7Nmを超えない範囲でステアラークランプボルトを締め込む力を増やして下さい。
△警告：フロントホイール周りの部品の組付けですが、タイヤ、フレーム、フォーク（もしくはフェンダーとその取り付けボルト）の間には最低6mmの間隔が空いている必要があります。タイヤのクリアランスが不十分だと重傷や死に至る恐れがあります。
10. それぞれの製造メーカーの取り付け説明に従い、ステムにハンドルバーを取り付け調整します。
△警告：ハンドルバーとステムの取り付けや調整を誤ると重傷や死に至る恐れがあります。
11. 製造メーカーの取り付け説明に従いフロントブレーキを取り付け、調整を行います。
△警告：ブレーキの取り付けと調整を誤ると重傷や死に至る恐れがあります。
12. 自転車に乗る前にはステムボルトの締め具合を確認し、フォークに損傷がないか点検してください。

Ongoing Maintenance (使用中のお手入れ)

△警告：お乗りの自転車に併せてステアラーチューブを切断する以外の改造をフォークに行わないで下さい。フォークの改造はフォークやその他の部品に損傷を与え、重傷や死に至る恐れがあります。

△警告：全ての自転車製品は有限の製品寿命を持ちます。自転車並びにフォークのような部品は消耗しストレスを受けます。異なる素材とメカニズムが、異なる割合でストレスを受けることにより摩耗や疲労を起こし、異なる製品寿命を持つ訳です。部品が製品寿命を超えると突発的、そして壊滅的な故障を起こし、搭乗者の重傷や死を引き起こします。ですからお乗りの自転車並びに部品に何かしらの摩耗、疲労の兆候がないか定期的に点検する必要があります。傷やクラック、変形、摩耗、変色は全てストレスの兆候で、その製品が疲労を引き起こし製品寿命を全うして交換する必要があることを示している可能性があります。何かしらの疲労やダメージの兆候を見つけたら、自転車には乗らないでください。サーリー販売店に持ち込み点検してもらい、必要があれば修理、交換してもらってください。

△警告：材料上、製造上の観点で自転車のフォーク並びに個々の部品は指定された期間保証の対象となっていますが、これは保証期間のあいだ製品がもつことを保証するものではありません。製品寿命はお客様の乗り方やお手入れに大きく関わります。保証は自転車や部品が壊れることなく永遠にもつことを意味するわけではなく、ただ製品が保証条項の対象になっていることを意味するだけのものなのです。

ステムとフォークの調整を何かしら行う際は、ステムのステアラークランプボルトを緩めて下さい。

フォークは定期的に取り外し、綺麗にして変形やクラック、その他の損傷がないか点検して下さい。フォーク上のどんな傷跡、クラックであって速やかにサーリー取扱店で問い合わせください。

定期的に全ての部品に損傷（クラック、欠け、その他）がないか点検し、見つけたら部品の交換を行って下さい。

事故や衝突を起こした場合、ハンドルバー、フォーク、ステム、シートポスト、ホイール、そしてフレームに目視出来る損傷がないか注意深く点検してください。どのような部品も程度の異なるストレスを受けるのと同様に、使い方やその箇所の酷使に比例する疲労限界が存在します。自転車に乗る前は常に部品を点検して下さい。部品の整合性や状態が疑わしければ交換して下さい。お乗りの自転車のサーリーフォークや何かしらの部品の状態に確信が持てない場合、取扱店で伺って下さい。

Limited Warranty (制限保証)

サーリーの製品は購入された日から1年間、材料上もしくは製造上の欠陥に対して、下記で詳述する制限を前提として保証を行います。購入証明として日付の入ったレシートを保管ください。

保証は以下については適用されません：

- 間違った取り付けや整備点検、技術の欠如や経験不足で行われる使用者自身の取り付けによる損傷
- 改造された、放置された、競技で使われた、営利目的で使われた、悪用、乱用された、もしくは事故にあった、その他通常使用の範疇を超える事例
- 販売状態の自転車と互換性のない、もしくは元来使用を意図されないコンポーネント、部品、アクセサリの取り付け
- ペイント、表面仕上げのダメージもしくは悪化、美観や製品の外観的要因
- 通常使用での消耗やほころび
- 自転車の組み付け作業における製品の取り外し、変更、再調整にかかる工賃

この制限保証はサーリーの判断によって行われる、欠陥のある製品の修理、もしくは交換に明確に限定される唯一の保証です。この制限保証は最初にサーリー製品を購入いただいた方にのみ適用され、譲渡は出来ません。この制限保証は正規代理店もしくはディストリビューターから製品を購入いただいた方にのみ適用されます。サーリーは直接的、付随的、必然的、もしくは何らかの明示もしくは暗示保証に違反することにより生じる、コンディション、市場性、特定の使用目的に対する適合性、その他のここに述べられる条件を除く弊社製品に関する如何なる損失、不便、損害に対しても支払いの義務を応じません。

この制限保証は消費者に特定の特定の法的権限を与え、それらの権利は他の権利共々お住まいの地域により変わります。またこの制限保証はお客様の法定権利に影響を及ぼしません。

法令が認める範囲で、これらの保証は唯一のものであり、他の表示もしくは暗示された保証、コンディションを含めた保証、市販上のコンディション、特定の目的に対する適合性などの保証は一切適用されません。

他の製品に関して：

決してがっかりさせることのない他の全ての製品に関してはモトクロスインターナショナル、もしくは本国のサイト (<http://surlybikes.com>) をご覧ください。

Surly

6400 West 105th Street
Bloomington, MN 55438

The Watts Line: 877.743.3191

The Email: derby@surlybikes.com

The Web Address: surlybikes.com